

公益社団法人日本プロゴルフ協会

平成26年度 事業報告書

自：平成26年1月1日～至：平成26年12月31日

【公益目的事業】

公1「ゴルフの正しい普及ならびにゴルフ分野のスポーツ振興及びゴルフを通じた

社会貢献を行う事業」

1. ティーチングプロ資格認定事業

ティーチングプロ資格認定講習会はA級、B級の2階級を実施し、B級講習会については、新規にティーチングプロ資格取得を希望する者のためのB級（新規）講習会に加え、既存のC級資格取得者に対するB級（移行）講習会の2種類を実施した。

A級講習会は90名（PGA83名、LPGA7名）が受講し、PGAの受講者で講習会を修了した83名（内トーナメントプレーヤー1名）に対しては、平成27年1月1日付けでティーチングプロA級資格を認定する。

B級（新規）講習会は138名（PGA123名、LPGA15名）が受講し、PGAの受講者でレポート、検定に合格し、講習会を修了した者109名に対して入会セミナーを実施した。

入会セミナー受講終了者は平成27年1月1日付けでティーチングプロB級資格を認定し、入会登録となる。

B級（移行）講習会は8名が受講し、講習会を修了した8名に対しては、平成27年1月1日付けでティーチングプロB級資格を認定する。

平成27年度PGAティーチングプロB級（新規）講習会受講希望者154名に対して、受講審査として書類審査及び実技審査（36ホールズストロークプレー）を実施し、101名が実技審査を通過した。

更に、実技審査通過者に対して面接審査及び筆記試験を実施し、合格した88名に平成27年度PGAティーチングプロB級（新規）講習会の受講を認めた。

尚、平成27年度講習会より、講習内容充実化のためのカリキュラム変更に伴い、前期1学期の講習を前年度に実施することとなったことから、平成26年12月に前期1学期講習会を実施した。

2. トーナメントプレーヤー資格認定事業

トーナメントプレーヤー資格認証のためプレ予選2会場、1次プロテスト4会場、2次プロテスト4会場、最終プロテスト1会場の4段階で実施した。その結果、56名が合格し、ティーチングプロ会員2名を除く54名が、入会セミナーの受講を経て、平成26年12月19日付けでトーナメントプレーヤー資格を認定し入会登録された。

また、一般社団法人日本ゴルフツアー機構が管轄するジャパングolfツアー賞金ランキングシード権取得者またはツアー競技優勝者で入会を希望する者（2名）については、入会セミナーの受講により、平成26年12月19日付けでトーナメントプレーヤー資格を認定し入会登録された。

3. プロゴルファーの資質向上事業

(1) 研修会

会員を対象として技術研鑽と資質向上を目的に、年間を通じて全国13会場にて研修会を実施した。

(2) PGAティーチングプロアワード

優れた指導理論や顕著な活動実績を持つプロゴルファーを表彰するPGAティーチングプロアワードは、2014年度は14名が参加し、審査の結果、優秀賞1名、功労賞1名、奨励賞1名を決定し表彰を行った。

(3) PGAマネジメントプログラム

会員の資質向上を目的としたPGAマネジメントプログラム「プロスポーツティーチングセミナー」を公益社団法人日本職業スキー教師協会及び公益社団法人日本プロテニス協会と合同で実施し3名が参加した。

4. ゴルフの正しい普及のためのジュニア育成事業

(1) ジュニア育成プロジェクト

地方自治体とタイアップし、自治体が募集した主にゴルフ未経験の小学生に対して、3段階からなるカリキュラムによってゴルフを経験させていくジュニア育成プロジェクトは、2014年度は和歌山県にて実施し、275名のジュニアが参加した。

(2) キッズゴルフ体験会

当法人が主催または公認する競技において、開催コースの近隣の小学校を通じて募集した主にゴルフ未経験のジュニアに対してゴルフを体験させるキッズゴルフ体験会は、シニアツアー6試合でイベントを実施し、延べ129名のジュニアが参加した。

(3) 春休み親と子&シニアゴルフレッスン会（平成26年3月実施事業）

春休み中の一定期間に、全国各地においてゴルフ練習場を利用して親子または祖父（祖母）と孫のペアでゴルフレッスン会を実施する春休み親と子&シニアゴルフレッスン会は、全国23会場で実施し、延べ633名が参加した。

(4) ジュニア育成地区活動への助成

地域におけるゴルフ普及と振興を目的に、地区ジュニア委員が企画、実施するジュニア育成活動に対して運営費を助成するジュニア育成地区活動においては、全国で31イベントが実施され、延べ1,924名が参加した。尚、助成金の総額は2,732,195円。

(5) ジュニアゴルフスクールへのプロゴルファー派遣

公益財団法人日本ゴルフ協会ならびに関連団体が全国各地で実施するジュニアスクールに対して、当法人所属のプロゴルファーを98会場、述べ485名派遣した。

(6) 日本ジュニアゴルファー育成協議会への支援

子供たちへのゴルフの普及、啓発事業、指導者養成事業などを行い、社会活動の推進及びスポーツの振興に寄与することを目的として、1999年にゴルフ関連10団体（公益

財団法人日本ゴルフ協会、公益社団法人日本プロゴルフ協会、一般社団法人日本女子プロゴルフ協会、一般社団法人日本ゴルフツアー機構、一般社団法人日本ゴルフトーナメント振興協会、公益社団法人日本パブリックゴルフ協会、一般社団法人日本ゴルフ用品協会、公益社団法人全日本ゴルフ練習場連盟、一般社団法人日本ゴルフ場経営者協会、全国高等学校ゴルフ連盟)によって創設された、NPO法人日本ジュニアゴルファー育成協議会(JGC)の活動に対して以下の支援を行った。

- ① JGCが主催または協力するゴルフ体験会、ゴルフレッスン会等のジュニアイベントに対しPGA会員並びに事務職員を派遣した。
- ② 助成金として150万円を支出。

5. ゴルフ分野のスポーツ振興のための主催競技開催事業

(1) 日本プロゴルフ選手権大会及び日本プロゴルフ選手権大会予選会

第82回日本プロゴルフ選手権大会 日清カップヌードル杯

開催日：平成26年6月5日(木)～8日(日)

場 所：ゴールデンバレーゴルフ倶楽部(兵庫県)

優勝者：手嶋多一

備 考：併せて予選会を全国7会場(1次予選6会場、最終予選1会場)にて実施

(2) 第53回日本プロゴルフシニア選手権大会 住友商事・サミットカップ

開催日：平成26年10月9日(木)～12日(日)

場 所：サミットゴルフクラブ(茨城県)

優勝者：尾崎直道

(3) 日本プロゴルフグランド・ゴールドシニア選手権大会 ゴルフパートナーカップ

開催日：平成26年6月20日(金)～21日(土)

場 所：高坂カントリークラブ・米山コース(埼玉県)

優勝者：ゴールドの部 矢部昭 グランドの部 飯合肇

備 考：予選会として関東・関西グランド・ゴールドシニア選手権大会を以下の通り実施。

関東プロゴルフグランドシニア選手権大会

開催日：平成26年4月24日(木)～25日(金)

場 所：箱根湖畔ゴルフコース(神奈川県)

優勝者：伊藤全

関東プロゴルフゴールドシニア選手権大会

開催日：平成26年5月13日(火)～14日(水)

場 所：鶴舞カントリー倶楽部・東コース(千葉県)

優勝者：長谷川勝治

関西プロゴルフグランド・ゴールドシニア選手権大会

開催日：平成26年4月22日(火)～23日(水)

場 所：ローモンドカントリー倶楽部(三重県)

優勝者：ゴールドの部 渡辺修 グランドの部 寺田寿

(4) 第16回日本プロゴルフ新人選手権大会 ゼロホールカップ

開催日：平成26年10月21日（火）～22日（水）

場 所：谷汲カントリークラブ（岐阜県）

優勝者：成松亮介

(5) PGAティーチングプロ選手権大会及びティーチングプロ選手権予選会

第3回PGAティーチングプログランドシニア選手権大会

開催日：平成26年10月21日（火）～22日（水）

場 所：谷汲カントリークラブ（岐阜県）

優勝者：佐野修一

第10回PGAティーチングプロシニア選手権大会

開催日：平成26年10月16（木）～17日（金）

場 所：チェリーレイクカントリークラブ（三重県）

優勝者：村田俊宏

第16回PGAティーチングプロ選手権大会

開催日：平成26年10月23日（木）～24日（金）

場 所：青山高原カントリークラブ（三重県）

優勝者：竹内寿文

備 考：併せて予選会を3会場で実施。

6. ゴルフを通じた社会貢献及びゴルフ普及事業

(1) PGAフィランスロピー地区事業

地域のゴルフ普及、振興または社会貢献（チャリティ）を目的としたゴルフイベントを全国17会場で実施し、延べ1,410名が参加した。各地区で実施したイベントの内容により助成金額を決定し、総額5,400,000円の助成を行った。尚、本事業によるチャリティ金の総額は2,976,629円となった。

(2) 障害者ゴルフ大会

本大会は障害者の方にゴルフを楽しんでもらう場を提供すると共に、障害者ゴルファーの技術向上を目指し、身体障害者を対象としたゴルフ競技会を10月7日（火）に若洲ゴルフリンクス（東京都）にて実施し、100名が参加した。

(3) 国際交流事業

海外で行われるシニアの国際大会に選手を派遣すると共に、役員を派遣し、海外プロゴルフ協会（PGA）との情報交換ならびに親善を図った。

本年度は以下の競技に選手ならびに役員、事務局員を派遣した。

- | | |
|-------------------------------|-----------|
| ・ マスターズトーナメント（4月10日～13日・米国） | 日本選手1名が出場 |
| ・ 全米プロゴルフシニア選手権（5月22日～25日・米国） | 日本選手5名が出場 |
| ・ 全米プロゴルフ選手権（8月7日～10日・米国） | 日本選手4名が出場 |
| ・ 全英シニアオープン（7月24日～27日・英国） | 日本選手6名が出場 |

(4) 広報事業

ゴルフ普及のための広報事業として、以下の事業を実施。

① 公式ホームページの開設

公式ホームページに当法人の概要や活動状況、競技情報などを掲載し、広く一般に告知した。

② 公式Facebook

公式Facebookは公式ホームページと連動して当法人の概要や活動状況、競技情報などを掲載し、広く一般に告知した。

③ 公式携帯サイトへのシニアツアー及びPGA資格認定プロテスト競技成績掲載

携帯サイト「The Golf」と提携し、当法人の公式携帯サイトとしてPGAシニアツアー競技及びPGA資格認定プロテストの組合せならびに成績を掲載した。

④ PGAシニアツアー競技成績の報道機関への配信

共同通信社と提携し、共同通信社から競技成績を配信することにより、PGAシニアツアーの成績が新聞各紙に掲載されるよう図った。

⑤ ゴルフフェア

一般社団法人日本ゴルフ用品協会が主催し毎年2月に開催されるジャパンゴルフフェアに当法人の特設ブースを出展し、実施事業の紹介、ゴルフレッスン会などを実施。

⑥ 競技記録の管理

シニアツアー及び1999年以前のレギュラーツアーの記録を管理し、一般ならびに報道機関などからの問い合わせ等に対応を行った。

(5) 出版事業

正しいゴルフ普及のため、当法人が長年の経験と実績に基づいて作成したゴルフ指導書（PGA基本ゴルフ教本、ゴルフ体操、ジュニア基本ゴルフ教本、ジュニア基本ゴルフ教本 みんなでゴルフ、ゴルフはじめてブック）の出版、販売を行った。

(6) ゴルフのルール及びマナーに関する研究調査事業

公益財団法人日本ゴルフ協会が主催する「合同ルール研究会」に、当法人の専門競技委員及び競技担当事務局員を派遣し、最新のルール裁定、ルールの変更点に対する解釈などについて学んだ。「合同ルール研究会」で得られた情報は、当法人が開催する研修会ならびにティーチングプロ講習会、入会セミナーなどで実施するルール講習において周知すると共に、その情報をもとに、当法人の競技特別規則（当法人が関係するすべての競技に適用）を作成して会員及び競技に参加するアマチュア選手に配布し、正しいルールの普及に努めた。

【収益事業】

収1 競技関係事業

1. シニアツアー事業

主催競技以外でPGAシニアツアー競技として開催を希望する競技（スポンサー競技）を公認し主管として管理を行った。また、1年間を通したツアー制度を実施し、公式賞金ランキン

グを作成。更に、シード資格（優先出場資格）を持たない選手に対して、出場優先順位を与えるためのシニアツアー予選会を実施した。

本年度、シニアツアー競技として実施された試合は以下の通り。

金秀シニア 沖縄オープンゴルフ トーナメント2014

開催日：平成26年4月18日（金）～19日（土）

場 所：喜瀬カントリークラブ（沖縄県）

優勝者：中根初男

～シニアを元気に!!～ KYORAKU MORE SURPRISE CUP 2014

開催日：平成26年5月9日（金）～11日（日）

場 所：涼仙ゴルフ倶楽部（三重県）

優勝者：奥田靖己

第15回スターツシニアゴルフトーナメント

開催日：平成26年6月13日（金）～15日（日）

場 所：スターツ笠間ゴルフ倶楽部（茨城県）

優勝者：池内信治

I S P S ハンダカップ フィランソロピーシニアトーナメント

開催日：平成26年6月27日（金）～29日（日）

場 所：箱根湖畔ゴルフコース（神奈川県）

優勝者：加瀬秀樹

マルハンカップ 太平洋クラブシニア

開催日：平成26年8月2日（土）～3日（日）

場 所：太平洋クラブ 六甲コース（兵庫県）

優勝者：グレゴリー・マイヤー

ファンケルクラシック

開催日：平成26年8月22日（金）～24日（日）

場 所：裾野カンツリー倶楽部（静岡県）

優勝者：羽川 豊

コマツオープン2014

開催日：平成26年9月11日（木）～13日（土）

場 所：小松カントリークラブ（石川県）

優勝者：尾崎健夫

第24回日本シニアオープンゴルフ選手権競技

開催日：平成26年10月30日（木）～11月2日（日）

場 所：小野グランドカントリークラブ（兵庫県）

優勝者：倉本昌弘

富士フィルムシニアチャンピオンシップ

開催日：平成26年11月6日（木）～8日（土）

場 所：ザ・カントリークラブ・ジャパン（千葉県）

優勝者：室田淳

いわさき白露シニアゴルフトーナメント

開催日：平成26年11月28日（金）～30日（日）

場 所：いぶすきゴルフクラブ開間コース（鹿児島県）

優勝者：倉本昌弘

2. 各種競技事業

シニア後援競技、シニア特別協力競技、後援競技、協力競技などの名義を貸与し、競技委員を派遣して競技の管理を行った。

本年度は以下の競技が実施された。

【シニア後援競技】

第3回北関東シニアオープンゴルフ選手権（優勝：加藤優）

第2回 佐世保カップ 九州シニアオープンゴルフトーナメント（優勝：渡辺司）

アサヒ緑健カップ第16回TVQシニアオープンゴルフ（優勝：白浜育男）

パラッツォカップ鹿島の杜シニアオープントーナメント（優勝：高松厚）

【シニアグローイング競技】

I S P S グローイング シニアオープン ハンダ熱血シリーズ第1戦（優勝：原田三夫）

I S P S グローイング シニアオープン ハンダ熱血シリーズ第2戦（優勝：神谷浩一）

I S P S グローイング シニアオープン ハンダ熱血シリーズ第3戦（優勝：三好隆）

I S P S グローイング シニアオープン ハンダ熱血シリーズ第4戦（優勝：杉原敏一）

I S P S グローイング シニアオープン ハンダ熱血シリーズ第5戦（優勝：山本昭一）

【グラウンド・ゴールド公認競技】

日本グラウンドゴールドユニデンシリーズ

（優勝：ゴールドの部 松本紀彦、グラウンドの部 飯合肇）

【後援競技】

第31回 岐阜オープンクラシック2014（優勝：上平栄道）

奈良県オープンゴルフ選手権（優勝：秦和弘）

北陸オープンゴルフトーナメント2014（優勝：遠藤彰）

【特別後援競技】

ザ・レジェンド・チャリティプロアマトーナメント（優勝：倉本昌弘）

エイブル・ウッドワン Invitational チャリティプロアマトーナメント（優勝：川岸良兼）

【協力競技】

2014兵庫県オープンゴルフトーナメント（優勝：山下和宏）

3. 共同主催競技事業

一般社団法人日本ゴルフツアー機構（JGTO）及び一般社団法人日本女子プロゴルフ協会（LPGA）との共同主催により、Hitachi 3 Tours Championship 2014を実施し、本年度はLPGAチームが優勝した。

収2 その他収益事業

1. 商標関係事業

「PGA」や「PGA TOUR」などの商標を管理し、企業やゴルフ場などに商標を貸与する。

本年度はジャパンPGAゴルフクラブ（千葉県）に対し「ジャパンPGA」の名称を継続して貸与すると共に、ネクサスマーケティング株式会社に対して、ゴルフ用品等の製作、販売のため商標の使用権を貸与した。

また、JCBカードと提携し会員となった方に対して、プロゴルファーとの交流を中心としたサービスを展開するファンクラブを組織し、ゴルフの普及を図った。

【その他事業】

他1 会員事業他

1. 会員のための競技はチャレンジ競技1試合、フレンドシップ1試合、シニア選考会2会場、プロテスト選考会1会場、グランドシニア選考会1会場を実施した。
2. 会報誌「PGAレポート」は4月、8月の2回発行し、新規入会者へのウェア等の配布、会員証の発行、会員名簿の発行、手帳の配布、ルールブックの配布、慶弔費の支給、公認ゴルフスクールの認定など、会員に対するサービスを行った。
3. 日本プロゴルフ殿堂に関する事業
プロゴルフ界の発展に貢献したプロゴルファーを表彰することを目的として設立された一般財団法人日本プロゴルフ殿堂の活動支援を行った。
4. PGAチャンピオンシップサミット
平成26年まで実施していたPGA感謝の夕べをPGAチャンピオンシップサミットと改称し、日本プロゴルフ選手権大会の告知を兼ねて、協賛社、マスコミ、関係者などを招待した懇親会を12月9日に開催し、約100名が参加した。

【コンプライアンス関連】

平成25年に発生した、現職理事が暴力団関係者と交際という不祥事により、平成26年4月1日に当法人の行政庁である内閣府より勧告を受けるに至った。

コンプライアンス委員長を中心に勧告書の内容を精査し、第三者委員会による調査を経て、当法人としての暴力団排除への取り組みをまとめ、昨年5月末に報告書を公益認定等委員会に提出。更に、昨年11月末に第2回目の報告書を提出した。

当法人が実施している主な暴排対策は以下のとおり。

- ① PGAと会員とのコンプライアンス問題についての意思疎通を図るため、14地区のすべてに地区選出の代議員の中から1ないし2名のコンプライアンス責任者を新たに設置した。尚、地区コンプライアンス担当者は暴力団対策法上の不当要求防止責任者として、関係の警察署に届け出ており、今後、順次、不当要求防止責任者講習会を受講する予定である。
- ② 平成25年の不祥事に関する理事らの責任について、「理事に選任された以上、非常勤で無報酬とはいえ法人のガバナンスを担う者として、他の理事の監督体制を構築すべき義務がないということはできない。会長、副会長以外の当時の理事についても戒告程度の処分を検討する余地はある。」との第三者委員会の指摘を踏まえ、昨年7月14日の定例理事会において、前期から引き続き理事にある者（会員理事のみ）に対して戒告の懲戒を課すこと、また、前期から引き続き在職している理事・監事については、本事案に関する反省を書面にして会長あてに提出することを決議した。
- ③ 理事及び監事について、平成26年2月の就任時に、反社会的勢力との交際がないことを確約し、代議員就任後に反社会的勢力との交際が発覚した場合には退会または除名の処分を受けても異議を申しでない旨の確約書及び誓約書を徴収した。更に、理事を除く代議員全員についても、平成26年5月に同様の確約書及び誓約書を徴収した。
- ④ コンプライアンス委員会の委員が各地区を訪問し、代議員との意見交換の場を持つこととし、暴力団排除セミナーの場などを利用して、全14地区において実施する。
- ⑤ 会員の暴力団排除意識の向上をめざし、会員向けの暴力団排除セミナーを平成26年12月から平成27年1月にかけて全国で10回開催する。コンプライアンス委員が講師となり、開催地の都道府県警察と暴追センターの協力を仰いで、暴力団対策法に基づく「不当要求防止責任者講習会」と同等の内容を盛り込み、受講した会員には本法人として「受講修了書」を発行する。なお、本セミナーには会員理事及び代議員ならびに事務局の幹部には受講を義務付けている。
- ⑥ 全ての役員（理事、監事）及び参与、顧問弁護士、事務局幹部に対して、競技等を除く全てのゴルフプレー（ラウンドレッスンを含む）について、プレー日、コース名及び同伴競技者の氏名をコンプライアンス担当事務局に毎月報告することを義務付けた。
- ⑦ 会員に対する研修等の機会をとらえて、会長または理事が各会場を訪問し、これまでに合計1,875名の会員に対して、昨年の不祥事、公益認定等委員会からの勧告の内容等の説明を行うとともに、暴力団排除の徹底、PGA119番の活用等を訴えている。
- ⑧ 新規入会者には、入会時に反社会的勢力との交際がないことなどの「表明確約」と、反社会的勢力との交際の事実が判明した場合は退会や除名となっても異議は唱えない旨の「誓約書」を提出させている。なお、既存会員については、今後導入予定の会員資格更新制度の運用過程で実施することとしている。
- ⑨ 第三者委員化界の提言や本法人が実施する暴排の施策等について、コンプライアンス委員長が分かりやすく解説したものを「コンプライアンス委員長通信」として、公式ホームページに掲載するとともに、会報誌にも掲載しているのでご覧いただきたい。
- ⑩ 暴力団等の反社会的勢力との関係で悩みを抱えている場合や刑事事件等に巻き込まれた場合など会員が対応に苦慮する事態等に対処するため、プライバシーを保護できる有効な相談窓口「PGA119番」を設置した。
- ⑪ 平成26年5月度定例理事会において決定した暴力団排除マニュアルを、PGAの公式ホームページ内の会員ページに掲載すると共に、6月に全会員に配布した。

- ⑫ アマチュアから直接金銭を受領する場合は、「レッスン料」や「ラウンドの謝礼」などとして金銭の主旨を明確にすること、ならびに法律に抵触するような行為または、そうと疑われるような行為をしてはならないことの会長名の通達を、7月にPGAの公式ホームページ内の会員ページに掲載するとともに、8月に全会員に送付した。
- ⑬ 各種規程を見直し、暴排に関する条項を盛り込むなど、役員等の選挙規程、会員倫理規程、正会員の入会及び退会規程、懲罰手続規則の改正を実施。

上記の事業報告に関して、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定されている附属明細書により、その内容を補足すべき重要な事項はありませんので附属明細書は作成しておりません。

以上